



小野幼稚園の園児らにより階段護岸に取り付けられた手形プレート = 大垣市東町地先

## 『清流・揖斐川に想いを込めて！』

### 揖斐川堤防に園児の手形プレート・大垣

- 大垣市立小野幼稚園（同市小野）の園児37名の手形を押した陶器のプレートを、新しくできた階段護岸に取り付けるイベントが3月13日（金）、大垣市東町の揖斐川河川敷で開かれた。園児は自分の手形を見つけ、「大きくなっても手形があると嬉しい！」などと大喜びしていた。

冒頭、挨拶に立った、細野貴司・揖斐川第二出張所長は、揖斐川を紹介した写真パネルを示しながら、「この地区を流れる揖斐川は、夏場を中心に水遊びや魚釣り、花火大会などのレクリエーション活動が盛んに行われ、市民の憩いの場となっている。しかし、その一方で、堤防斜面や河川敷には多くのゴミが捨てられ川が汚されている」と語り、手形に「自分たちの手で川を守る」という決意と、「ゴミのポイ捨てストップ！」という意味を込めたと、手形プレートの設置目的とこれまでの経緯を説明した。そして、今回の一連の取り組みについて、当地区の工事を請け負う近藤建設（株）（海津市平田町）と連携して取り組んだことを加えた。

午前10時から行われたイベントでは、園児たちは今流行りの「妖怪体操」で元気よく準備体操をした後、河川敷に下りる堤防の階段に取り付けられた緑やピンク、黄色などカラフルな手形プレートを探し、自分の作品の出来映えを確かめた。その後、園児たちは手形に関連して「手のひらを太陽に」を力強く歌い、最後に、園児から工事関係者らに手作りの首飾りが贈られた。会場は園児たちの元気な声が響き渡り、駆け付けた父兄たちは我が子の活躍ぶりに目を細めていた。

## ■故郷の川に誇りと愛着をもち、揖斐川の素晴らしさを感じてほしい！



園児たちに手形プレート設置目的を説明する細野揖斐川第二出張所長

### 手形プレートによるメッセージ①

地元の川を自分たちで手で守っていくという  
柔らかな姿勢を現わす



### 手形プレートによるメッセージ②

川にゴミを  
捨てないという  
強い姿勢を現わす



ポイ捨てストップ！

## ■人気アニメキャラクター`妖怪体操第一`で、体ポカポカ！

- 手形プレートの取り付け前に、児童の体と心をほぐすため、人気アニメキャラクターと化して登場した木曾川上流河川事務所職員4名が園児と一緒に、準備体操`妖怪体操第一`を軽やかに躍った。

リーダー役を務めた揖斐川第二出張所の後藤有佑・事務係長は「園児を前に躍るのは今回で2回目。前は少し照れもあったが、今日は広い河川敷で気持ちよく躍れて楽しかった！」と心も躍らせていた。



園児と一緒に準備体操をする木曾川上流河川事務所の職員

## ■私の手形プレート、可愛く、きれいに出来たよ！



- 1月19日（月）に園児が製作し、事前に焼き上げた手形プレートを、特殊な接着剤で糊付けして階段護岸に1枚ずつ丁寧に張り付けていった。

自身の手形プレートを直接取り付けた、たまき ゆず 玉木悠瑞ちゃん（5）は、「青い色で綺麗にできていた。ずっと長くくっついてるといいな」と語り、目を輝かせていた。



手形プレートの出来映えを確かめる園児たち

手のひらを 太陽に

ぼくらは みんな 生きて いる  
生きて いるから 歌うんだ  
ぼくらは みんな 生きて いる  
生きて いるから かなしんだ

手のひらを 太陽に  
すかして みれば  
真っ赤に 流れる  
ぼくの ちしお

ミミズだって オケラだって  
アメンボだって  
みんな みんな 生きて いるんだ  
ともだちなんだ



- 国土交通省や近藤建設（株）の皆様には、大変お世話になり、園児たちにとって最高の思い出となりました。園児たちは、自分の手で作った手形プレートが揖斐川堤防に一生残ることで、これからも川を愛する気持ちは決して忘れないでしょう。園児たちには、これからも自然を愛し、明るく元気でたくましく成長してくれることを願っています。

小野幼稚園 園長 かわむら ちかこ 河村千賀子



- 心配された天気も、当日は穏やかに晴れ渡り、カラフルな手形プレートの仕上がりを見た園児たちは大喜びで、それを見守る多くの保護者や関係者の方々のおかげで笑顔に大変嬉しく思いました。私共は、これからも地域と共に生きる建設産業の社会的使命を果たすため、環境に配慮した施工に努め、地域環境の保全に貢献した活動を地域と連携して取り組んでいきたいと考えています。今回の取り組みについて、ご理解とご協力をいただきました、小野幼稚園ならびに木曾川上流河川事務所の皆様方に厚くお礼申し上げます。

近藤建設（株） 代表取締役 こんどう のぶひこ 近藤延彦



- 小野幼稚園の園児の皆さんと、近藤建設（株）さん、国土交通省木曾川上流河川事務所のコラボレーションでとても心に残る取り組みとすることができました。園児の皆さんやお母さん方にとって、花火の季節になったり、揖斐川を見たとき「手形プレート」のことを思い出し、そして故郷の川、揖斐川に親しみ大切に慈しんでいただけるものと確信しています。今回の取り組みで、孫のような園児達の前で妖怪体操第一をはじめて躍り、恥ずかしい思いもしましたが、一生懸命作ってくれた首飾りを首にかけてもらい、とても良い思い出となりました。

木曾川上流河川事務所 副所長 こしやま きよし 腰山喜代志